

北軽井沢の牧草地の縁で出会ったニホンジカです。撮影は5月下旬で、森へ入ろうとしていたところを見かけました。高原の初夏はシカたちにとって出産を迎える季節でもあり、この個体は腹部がふっくらと張り出して見えることから、妊娠後期のメスである可能性が高いように感じられました。体つきにはどこか重たさがあり、歩みもゆっくりとしていて、急いで逃げ去る様子はありませんでした。

野生のニホンジカは本来たいへん警戒心が強い動物ですが、この個体はこちらの存在に気付いてもすぐには身を隠さず、しばらくその場に立ち止まっていました。大きな耳を前方へ向け、こちらをじっと見つめる姿は、どこかカモシカを思わせる落ち着きがあります。林床の緑に囲まれた薄暗い森の中で、白い尾の周囲だけが明るく浮かび上がり、その静かな佇まいがいっそう印象的でした。

北軽井沢周辺では近年シカの姿を見かける機会が増えているといわれます。県道沿いや牧草地、林縁部などで目撃されることも珍しくなく、初夏には子鹿を連れた親子に出会うこともあります。この写真のシカも、あとわずかで新しい命を迎える母親だったのかもしれませんが。高原の森に満ちる静寂の中で、こちらと視線を交わしながら立ち尽くしていたその姿は、厳しい冬を乗り越え、次の世代へ命をつないでいく野生動物の力強さを感じさせてくれる一場面でした。

(2026年5月下旬／北軽井沢)

